



2014年教育学部（数学・技術）第1問

- 1 $a_1, a_2, a_3, b_1, b_2, b_3$ をそれぞれ 1 から 9 までの整数とし、 $a_1, a_2, a_3, b_1, b_2, b_3$ の中に同じ数がいくつあってもよいとする。 $[a_1 a_2 a_3]$ は 3 桁の整数 $a_1 \times 100 + a_2 \times 10 + a_3 \times 1$ を表し、 $[b_1 b_2 b_3]$ は 3 桁の整数 $b_1 \times 100 + b_2 \times 10 + b_3 \times 1$ を表し、 $[b_1 b_2 b_3 26]$ は 5 桁の整数 $b_1 \times 10000 + b_2 \times 1000 + b_3 \times 100 + 2 \times 10 + 6 \times 1$ を表すとする。 p, q, r を次の条件とする。

 $p : [a_1 a_2 a_3] - 1$ は 50 で割り切れる。 $q : [b_1 b_2 b_3 26]$ は $[a_1 a_2 a_3]$ の 26 倍である。 $r : [b_1 b_2 b_3]$ は整数の 2 乗ではない。

このとき、以下の問いに答えよ。

- (1) 命題「 $q \Rightarrow p$ 」が真であれば証明し、偽であれば反例をあげよ。
- (2) 条件 q を満たす組 $(a_1, a_2, a_3, b_1, b_2, b_3)$ は何組あるか。
- (3) 命題「 $q \Rightarrow r$ 」が真であれば証明し、偽であれば反例をあげよ。

$$(1) f \text{ が成り立つとき. } 10000b_1 + 1000b_2 + 100b_3 + 26 = 26(100a_1 + 10a_2 + a_3)$$

$$\therefore 100(100b_1 + 10b_2 + b_3) = 100 \cdot 26a_1 + 26(10a_2 + a_3 - 1)$$

左辺は 100 の倍数なので、 $26(10a_2 + a_3 - 1)$ も 100 の倍数。

$\therefore 10a_2 + a_3 - 1$ は 50 の倍数。

$$\text{一方. } [a_1 a_2 a_3] - 1 = 100a_1 + 10a_2 + a_3 - 1 = 100a_1 + (10a_2 + a_3 - 1)$$

したがって、50 の倍数となり。P が成り立つ。すなわち $f \Rightarrow P$ は真 \blacksquare

(2) (1)より、 $f \Rightarrow P$ なので、 $(a_2, a_3) = (0, 1), (5, 1)$ であることを必要。

$$a_2 \neq 0 \text{ より. } (a_2, a_3) = (5, 1)$$

$a_1 \geq 4$ のとき、 $26 \times [a_1 a_2 a_3]$ は 5 桁になる $\therefore \underline{\underline{6 \text{ 組}}}$

(3) f が成り立つとき、P も成り立つので (2) で求めた

$$(a_1, a_2, a_3) = (4, 5, 1), (5, 5, 1), (6, 5, 1), (7, 5, 1), (8, 5, 1), (9, 5, 1)$$

の場合から反例を探す。 $[b_1 b_2 b_3 26] = 26 \times [a_1 a_2 a_3]$ なり。

$$[b_1 b_2 b_3] \text{ が平方数なら. } [b_1 b_2 b_3] \times 100 = 26 \times ([a_1 a_2 a_3] - 1)$$

(左辺) は 13 で割り切れる平方数 $\therefore [a_1 a_2 a_3]$ は 13 で割ると 1 余る。

$$\therefore [a_1 a_2 a_3] = 651, [b_1 b_2 b_3] = 169 \text{ のとき. } 169 = 13^2 \text{ となり. 反例となる } \blacksquare$$